



東洋紙工株式会社

ダンボール屋さんのエコ活動！

（ 2019年度 環境経営レポート ）

【対象期間：2019年5月21日 ～ 2020年5月20日】



ダンボールが大好き

ダンボールを通じて社会貢献！
環境を考える 段ボール会社！



エコアクション21[®]
認証番号0009090

作成日：2020年11月20日

【目次】

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	11
これまでの環境活動の紹介	12

□ ごあいさつ

環境活動レポートをご覧いただきありがとうございます。

企業活動をすすめるに当たり、環境保全とりわけ気候変動緩和の取り組み、および適応していくことはさけて通れないと認識しています。

誰かが考えてくれる、自分に関係ないでは済まされないことです。

「ダンボール」素材を加工する当社が率先して、私たちにできることを行い、リサイクル活動やCO2抑制策の開示をし、私たちにできることを

「考えよう!」「実行しよう!」をスローガンに取り組んでいます。

環境経営方針

< 環境経営理念 >

当社は、ダンボールの加工業を通じて社会貢献を図ります。

リサイクルの優等生といわれる素材「ダンボール」を扱っており、資源の大切さをもっとも認識しています。

本業となるダンボールの生産を通じて、気候変動への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

安全で安心していただける商品を効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んで参ります。

< 環境保全への行動指針 >

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 使用原材料の不良率低減による省資源、廃棄物削減の推進をします。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 使用する化学物質の適正管理に努めます。
6. ダンボールに変更可能な製品開発を進めます。
7. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



制定日：2012年5月20日

改定日：2018年5月20日

代表取締役 田村 耕作

□ 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
東洋紙工株式会社
代表取締役 田村 耕作
- (2) 所在地
本社・工場 大阪府四條畷市西中野一丁目11番32号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 工場長 瀬尾 章二 TEL：072-878-5541
担当者 事務部 兵田 和歌子 TEL：同上
- (4) 事業内容
ダンボールケースおよび紙器・緩衝材の製造
- (5) 事業の規模
売上高 314百 万円

		本社・工場
従業員	名	23名
延べ床面積	m ²	1,587 m ²

- (6) 事業年度 5月21日～ 5月20日

□ 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：	東洋紙工株式会社
対象事業所：	本社・工場
活動：	ダンボールケースおよび紙器・緩衝材の製造

□ 事業や製品（商品）の紹介

ダンボール加工で57年。内装箱から物流用外装箱まで、用途に応じたパッケージを製作いたします。特注品や試作用のパッケージにも対応いたします。CAD設計によるご提案から量産品までワンストップでお答えします。

また、わくわくドキドキする「ダンボールめいろ」や「巨大紙相撲イベント」のお手伝いもしています。幼児向けダンボール工作キットやアーティスト、クリエイター様とのコラボも行っていきます。



一般ダンボールケース

お客様のご要望に合わせて製作いたします。



作品入れ「4ツ切り画用紙対応」

収納性を重視した設計となっています。

弊社ホームページからご購入可能です。



お客様から見たイメージ



新型コロナウイルス飛沫防止パネル（ユニット型）

ユニット型なので、様々なスペースへの応用が可能、組立に工具やボンドは不要です。

◆ ダンボールの特徴を活かした様々な製品を製作しています。



ダンボールめいろ



四條畷市キャラクターの
「くっすん貯金箱」工作キット

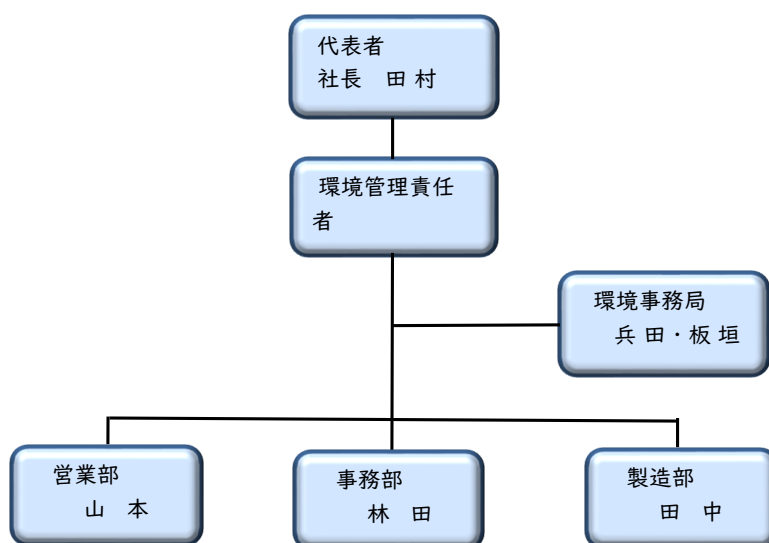


紙芝居製作キット

□ 環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2018年4月11日

更新日：2020年3月23日



	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付） ・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□ 主な環境負荷の実績

項目	単位	2017年	2018年	2019年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	31,000	53,203	40,060
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	1,350	1,005	560
産業廃棄物排出量	kg	26,000	2,322	1,041
総排水量	m ³	1,320	441	429

※二酸化炭素排出係数 0.359 kg-CO₂/kWh リコージャパン(株)平成28年度調整後係数

□ 環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値			(2019年度 環境経営 レポート)		評価	2020年	2021年
		通期		(目標)	(実績)	通期		通期	
		(基準年)	(目標)			(目標)		(目標)	
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	37,175	29,740	27,040	○	29,368	28,996		
	基準年度比	2011年	80%	73%		79%	78%		
LPGガスによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	3,714	2,748	565	○	1,114	1,077		
	基準年度比	2011年	74%	15%		30%	29%		
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	12,314	10,960	12,454	×	10,960	10,836		
	基準年度比	2011年	89%	101%		89%	88%		
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	53,203	43,448	40,060	○	41,442	40,910		
一般廃棄物の削減	kg	1,005	674	560	○	663	653		
	基準年度比	2011年	67%	56%		66%	65%		
廃プラスチックの削減	t	700	644	440	○	637	630		
	基準年度比	2011年	92%	63%		91%	90%		
廃インキの削減	t	1620	1490	600	○	1474	1458		
	基準年度比	2011年	92%	37%		91%	90%		
木くずの削減	t	1.65	1.52	1.40	○	1.50	1.49		
	基準年度比	2011年	92%	85%		91%	90%		
水道水の削減	m ³	441	384	429	×	379	375		
	基準年度比	2011年	87%	97%		86%	85%		
溶剤(シンナー)使用量削減	kg	8,146	6,924	0,000	○	1,792	1,711		
	基準年度比	2011年	85%	0%		22%	21%		
POC2使用量削減	kg	20.70	19.04	20.65	×	10.35	10.14		
	基準年度比	2011年	92%	100%		50%	49%		
グリーン購入の推進 (オフィス用品G購入率)	% (金額率)		30%	65%	○	40%	50%		
コピー用紙の削減	枚数	147,000	142,590	132,500	○	138,180	133,770		
	基準年度比	2018年	97%	90%		94%	91%		
環境に配慮した生産活動	行動目標(次項による)								

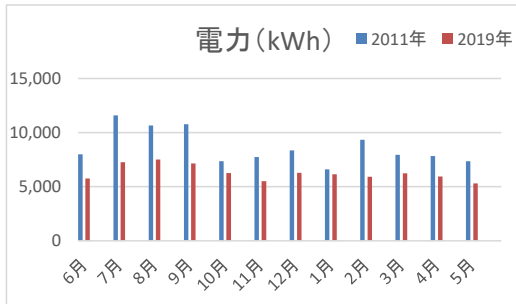
※ POC2は、印刷機のインクロールメンテナンス(2ヶ月に1回)を行う時に使用する溶剤。トルエン53%含有

□ 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標: ○達成 ×未達成

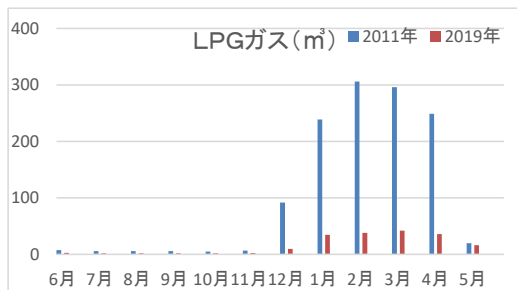
活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	夏場のクーラー使用に対し、事務所、食堂ともこまめな管理をして目標達成できた。 省エネエアコンに交換した効果がでた。 次年度は、工場の水銀灯を全てLEDへ交換予定。
・空調温度の適正化(冷房28℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・昼休みの工場消灯・トイレ・休憩室のこまめな消灯	○	
・夜間、休日はパソコン・プリンターの主電源を切る	×	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	△	



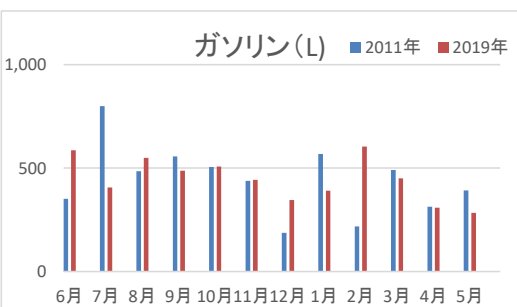
月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2011年	7,996	11,598	10,662	10,767	7,350	7,732	8,354	6,600	9,334	7,955	7,844	7,359
2019年	5,756	7,270	7,518	7,151	6,259	5,514	6,282	6,151	5,930	6,232	5,949	5,309

LPGガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	3階事務所はガスストーブ2台からエアコンに変更したためLPGの消費がかなり削減できた。冬場は約半減できた。 次年度も本年度の状態を維持したい。
・温水温度の適正化	○	
・お茶沸かしの削減	○	
・ガスストーブのこまめな管理	○	
・ガスボンベと器具の点検	○	



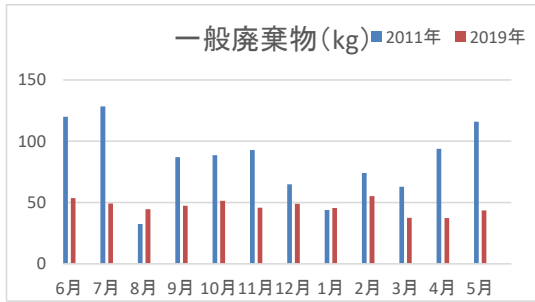
月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2011年	8	6	6	6	5	7	92	239	306	296	249	20
2019年	3	2	2	2	2	2	10	35	38	42	36	16

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	配送コスト(運送業者依頼)を減らすため、小口配送を営業や工場長が行うことが増加し、目標達成できなかった。 自車便配達が増える傾向にあるが省エネ運転を心がけ排出抑制に努める。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	○	
・エリア別営業活動の見直し	△	



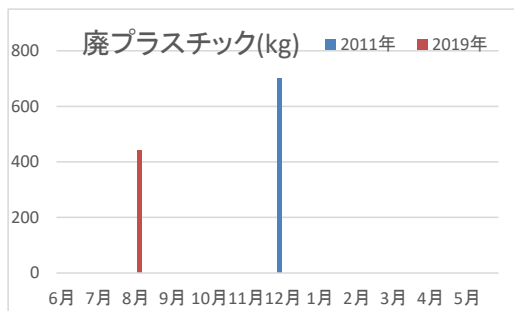
月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2011年	351	800	485	556	505	438	187	568	218	491	313	392
2019年	586	406	549	487	508	444	346	390	605	451	309	284

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	事務所に共有ファイルサーバーを設置。工場、食堂ゴミは分別により排出袋数は削減できたが、重量は目標に届かなかった。 次年度は個数が減った(6袋→4袋/週)ので市役所の一般ゴミ処理費用を契約変更してもらい4,080円→2,720/月に値下げできた。
・分別の徹底	○	
・食堂ゴミ削減	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	△	
・ファイルサーバー導入	○	



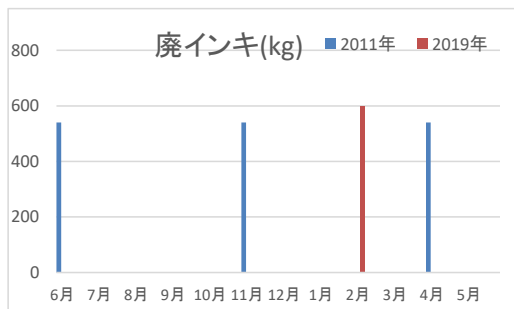
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2011年	120	129	33	87	89	93	65	44	74	63	94	116
2019年	54	49	45	47	51	46	49	46	55	38	37	44

廃プラスチックの削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	今期は1/4半期に廃印判と廃パレットを出しただけで少量でした。 今後も削減に取り組みたい。 丁寧なパレット作業を心がけプラパレの破損を削除したい。
プラ製パレットの取り扱いを丁寧に	○	
樹脂製印判の整理をする	○	



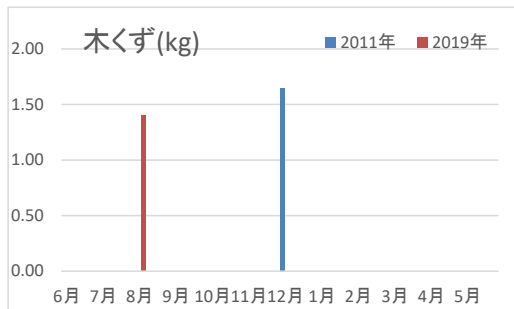
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2011年	0	0	0	0	0	0	700	0	0	0	0	0
2019年	0	0	440	0	0	0	0	0	0	0	0	0

廃インキの削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	4月から廃液処理値上げのため2缶を3月に排出したが目標は達成できた。 廃インクrossの削減に取り組む。 次年度はインクの集約をさらに進め、廃インクの削減に努めたい。
インク替え頻度の削減	○	
マシン内インキの回収の徹底	○	



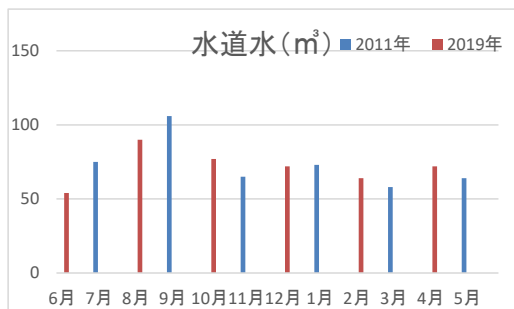
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2011年	540	0	0	0	0	540	0	0	0	0	540	0
2019年	0	0	0	0	0	0	0	0	600	0	0	0

木くずの削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	木くずの削減はできた。次年度は木くずのリユース方法を検討したい。
生産用抜型の整理	○	
木くずのリユース先の開拓	×	



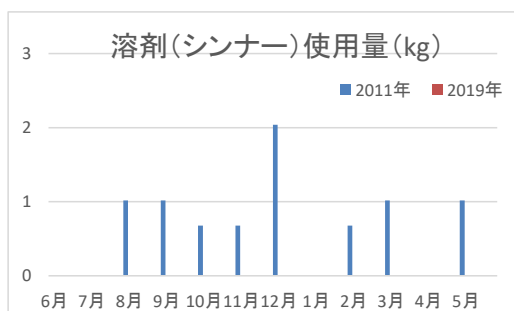
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2011年	0.00	0.00	1.65	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2019年	0.00	0.00	1.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	熱中症対策のため、目標達成できなかった。 9月に水冷式からヒートポンプ式エアコンに交換した。 次年度はクーラー用冷却水分の削減できると期待している。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・節水弁取り付け	×	
・自動水栓取り付け	×	
・トイレに擬音装置取り付け	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2011年	0	75	0	106	0	65	0	73	0	58	0	64
2019年	54	0	90	0	77	0	72	0	64	0	72	0

溶剤(シンナー)使用量削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	マシンの清掃やメンテナンスで過剰にシンナーを使用していたが、適切な使用量を心がけることで、大巾に削減できた。 次年度目標も下げる事にした。
・有害物質の表示の徹底	○	
・容器の蓋の徹底	○	
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	
・代替物質の検討	×	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2011年	0	0	1	1	1	1	2	0	1	1	0	1
2019年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

POC2使用量削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画																																							
数値目標		×	メンテナンス時に、少量ずつ必要に応じて使うようにしたが、年間使用量は増加した。 次年度はウエスを一部スポンジに変更し、使用量の削減に取り組む。																																							
・有害性物質の表示の徹底		○																																								
・容器の蓋の徹底		○																																								
・作業ミスによる使用量増加の抑制		○																																								
・代替物質の検討		×																																								
<p>POC2使用量(kg)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2011年</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2019年</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>				年	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	2011年	7	0	0	7	0	7	0	0	0	0	0	0	2019年	7	7	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0
年	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月																														
2011年	7	0	0	7	0	7	0	0	0	0	0	0																														
2019年	7	7	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0																														
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月																														
2011年	7	0	0	7	0	7	0	0	0	0	0	0																														
2019年	7	7	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0																														

グリーン購入の推進		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		○	行政機関(各市町村)の取り組みを参考にして、グリーン購入を進めてみたい。
・有害性の少ない資材の購入		○	
・省エネ性能の高い電気製品の購入		○	
・燃費のよい自動車の採用		○	
・事務用品グリーン購入比率向上		○	

環境に配慮した生産活動		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・不良率低減		○	ビジネスマッチング展示会(6月・11月)マイドームおおさか。および一般向けに市役所主催の「ダンボールコンポスト活動」やイベントに出展し、ダンボールの特徴をアピールした。次年度も積極的に特徴をアピールしたい。
・稼働率向上		○	
・製品そのものがリサイクル品なので、展示会にてダンボールの特徴を広報していきたい。		○	
・目標は年4回以上イベント、展示会を行う。		○	

展示会出展



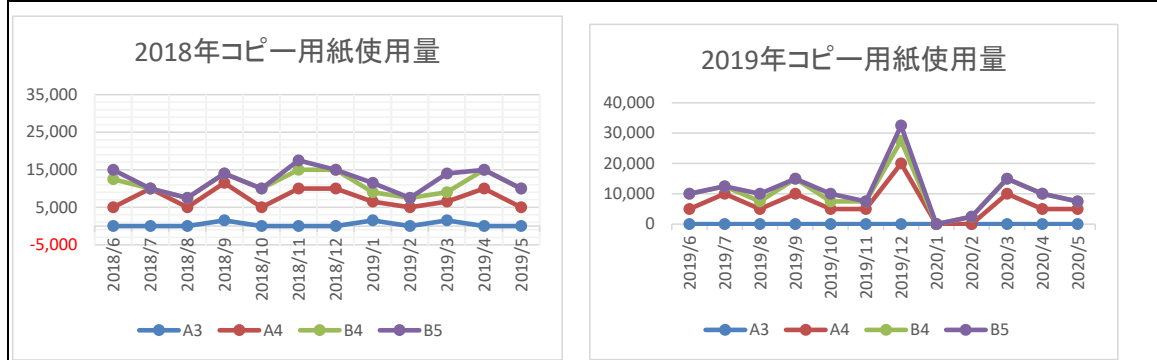
ビジネスマッチングフェ



市役所の展示コーナー

印刷インク		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画																																							
・現時点のインク種類数を把握		0	インクの集約と生産計画の維持促進をすすめる。																																							
・不要インクの廃棄・インクラックの解放		0																																								
<p>印刷インク使用量(Kg)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2011年</td> <td>85</td> <td>85</td> <td>80</td> <td>85</td> <td>75</td> <td>110</td> <td>85</td> <td>85</td> <td>130</td> <td>65</td> <td>105</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>2019年</td> <td>60</td> <td>40</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>60</td> <td>30</td> <td>60</td> <td>35</td> <td>65</td> <td>45</td> <td>65</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table>				年	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	2011年	85	85	80	85	75	110	85	85	130	65	105	55	2019年	60	40	35	35	60	30	60	35	65	45	65	35
年	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月																														
2011年	85	85	80	85	75	110	85	85	130	65	105	55																														
2019年	60	40	35	35	60	30	60	35	65	45	65	35																														
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月																														
2011年	85	85	80	85	75	110	85	85	130	65	105	55																														
2019年	60	40	35	35	60	30	60	35	65	45	65	35																														

コピー用紙の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	業務内容に対して、コピー、プリント用紙が多いと解り(リコーより)用紙の削減に取り組む
・電子データ化の推進	×	A4=△5.8%
・裏紙のリユースを計る	○	B4=△5.5%
・複合機入替に伴い印刷ミスを減らす (保留印刷機能)	○	B5=△20.0%削減できた。ファイルサーバー等の活用を増やし



	2018/6	2018/7	2018/8	2018/9	2018/10	2018/11	2018/12	2019/1	2019/2	2019/3	2019/4	2019/5
A3	0	0	0	1,500	0	0	0	1,500	0	1,500	0	0
A4	5,000	10,000	5,000	10,000	5,000	10,000	10,000	5,000	5,000	5,000	10,000	5,000
B4	7,500	0	2,500	2,500	5,000	5,000	5,000	2,500	2,500	2,500	5,000	5,000
B5	2,500	0	0	0	0	2,500	0	2,500	0	5,000	0	0
	2019/6	2019/7	2019/8	2019/9	2019/10	2019/11	2019/12	2020/1	2020/2	2020/3	2020/4	2020/5
A3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A4	5,000	10,000	5,000	10,000	5,000	5,000	20,000	0	0	10,000	5,000	5,000
B4	5,000	2,500	2,500	5,000	2,500	2,500	7,500	0	2,500	5,000	5,000	2,500
B5	0	0	2,500	0	2,500	0	5,000	0	0	0	0	0

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(廃プラ、木くず等)
フロン排出抑制法	業務用空調機
消防法	シンナーの適正管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

2019年度は発生しませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2020年11月20日

本年度は、新聞やTVなどのメディアでSDGsが毎日のように取り上げられるようになり、認知度が増した年だったと思います。ただし2020年になり、新型コロナウイルス感染症が社会生活を一変させました。様々な活動が自粛となり、弊社も大きな売上ダメージを受けました。コロナ禍のとき、地元団体より感染防止対策のお話をいただき、ダンボール会社が今できることとして「飛沫防止パネル」を開発、製造いたしました。まだまだコロナ禍は続きそうなので、With コロナの生活様式に取り組みたいと考えています。

さて、弊社では前年作成した計画に基づき、老朽化したクーラーを省エネ型の新型エアコンへ交換いたしました。夏の電気消費量はもちろん冬のストーブ用のガス消費量も大幅に削減できました。但し、自動車用燃料は自社配達が増加したため、残念ながら目標未達成となりました。廃棄物は一般廃棄物、廃プラスチック、廃インキとも削減できました。次年度は一般廃棄物の木材のリユース先を開拓予定です。水道は熱中症対策もあり、目標達成ができていません。その中で、水冷式クーラーを9月に撤去したため、次年度は削減できる予定です。次年度は紙類の削減にも取り組む予定です。コピー用紙はプリントの削減、裏紙の活用を進めます。2018年度に導入したファイルサーバーの活用も促進します。納品伝票用紙は汎用化と簡素化に取り組みます。納品伝票はドットプリンターを使う5枚綴りの専用印刷用紙を使用しています。コストも掛かるため、A4用紙を使った汎用性のある納品書へ切り替えを検討します。

「持続性可能な社会」のキーワードにより、リサイクル素材で環境にやさしいダンボールは注目が高まっております。今後も素材の優位性をアピールしていくことで、ダンボールの活用範囲はさらに広がると考えています。ITやコンピュータの活用がまだまだ進んでおらず、2度手間な作業も多くのこっている点、社内の情報共有化の点が課題と感じています。定型業務や仕様書を工夫することでムダを省き、時間の節約も進めたい。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

事務所エアコン取替

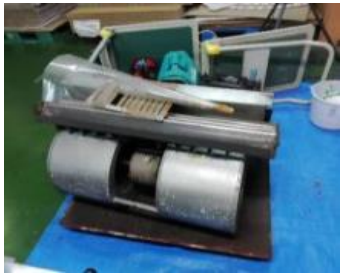
2019年9月28日



40年以上使用していた、クーリングタワー型クーラーから省エネ型エアコンへの取替
夏、冬の省エネを目指す。

2階 エアコン設営

2019年10月19日



フォークリフト更新

2020年2月28日



防災訓練の実施

2019年9月5日 午前 11:00～



各自、携帯電話の緊急メールにて地震発生確認後、従業員各自が早急に1Fの工場出入口付近に避難し、人数、安否確認の訓練を実施した。

商品PRの展示会のようにす

※ 詳細は東洋紙工のブログをご参照ください



2019年6月11～12日 「ビジネスマッチングフェア2019」に出展



受付のようす



チラシ

東洋紙工のブース

大阪のものづくり中小企業が出展する展示会です。
2日間にわたり、ダンボールの特徴や弊社の得意分野の紹介をいたしました。

2019年11月27日～28日「ビジネスチャンス発掘フェア 2019」に出展



東洋紙工のブース



八尾市と北河内エリアの中小企業が出展。
地域内外の交流ができました。

地域での催しの紹介



2019年7月7日 「ワークショップ」(四條畷野外センターにて)



四條畷野外活動センターにて「ワークショップ」開催
青空のもと地元のみなさんと交流できました。

2019年8月24日 「児童放課後教室」(大東市にて)



児童施設で「ダンボールで遊ぼう」を開催しました。

2019年10月20日 「畷ボーイスカウト」(四條畷野外センターにて)



ボーイスカウトさん主催のオープンイベントに、紙管(ストレッチフィルムの芯を再利用)を使った紙缶下駄作りにお

2019年10月27日 「市民の集い」



ダンボールで [ナワテスイッチ] 製作、出展。



2019年10月16日 「暇コンポストモニター」



四條市生活環境課主催の「段ボールコンポスト」講習会のお手伝い

ダンボールコンポストとは
ダンボール箱に基材のピートモスとくん炭を使って生ごみを削減し、たい肥にする、取り組みです
広いお庭も必要なく、軒先やベランダで自然の力を実感できます

2019年10月31日 「暇ハロウィンナイト」



「暇ハロウィンナイト」が開催されました。
当社は「ハロウィン仕様のダンボールめいろ」のお手伝いをしました。
いつものダンボール迷路がハロウィンバージョンとなっています

2019年11月10日 「みちくさ市」



第10回みちくさ市が開催されました。(四條市・川崎池公園にて)
地元のお野菜、季節のお花、こだわりのフード、ライブステージ、そしてワークショップも開催されました。
当社は、ダンボール工作「くっすん貯金箱」と「前方後円墳キット」のワークショップを開催しました。



2019年12月15日 「四條畷野外活動フェス」



四條畷市立野外活動センター主催
コーラスやハーモニカ演奏や窯焼きピザ作りなど盛りだくさんの中、[ダンボール紙馬づくり]ワークショップを開催

2020年2月16日 「なわて環境フォーラム」に出展



東洋紙工のブース

四條畷市主催の「なわて環境フォーラム」で地球にやさしいダンボールの紹介とワークショップ開催
弊社はリサイクルクイズやダンボール破材でつくる工作コーナーを担当しました。
新型コロナウイルス感染が問題となってきたため全員マスクを付けて実施しました。
3月からはすべてのイベント、展示会が中止となりました。
新型コロナウイルスが一日でも早く終息することを願っております。

環境省の「ESG金融」啓蒙ビデオに出演



2019年2月に取材を受け環境省の「ESG金融」啓蒙ビデオに出演させていただきました。



全体で22分ほどにまとめられたビデオです
 タイトルは「今、なぜESG金融なのか?」です
 YouTube参考アドレス <https://youtu.be/BzxxMrSW1g4>



弊社はChapter13で紹介いただきました。
 YouTube参考アドレス <https://youtu.be/Xr-EuxKUGMI>

東洋紙工株式会社は、リサイクルの優等生であるダンボールを加工し、ご利用いただくことで社会とつながり、持続可能な社会の実現に向けて進んでまいります。当社は、世界共通の目標であるSDGsに掲げられた目標の達成に向けて、事業活動を通じて貢献していきたいと考えております。



SDGsとは

SDGsとは、「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の略称で、2015年9月に、国連で「持続可能な開発のための2030アジェンダ」として採択されたものです。SDGsは「すべての人々にとってより良い世界をつくる」ことを目標に、その実現に向けて全ての国連加盟国に取組みが求められるとともに、政府だけではなく企業にも主体的に取り組むことが求められています。